

攻討は一人も死なば討取らばと申すも今日の有様を
取返す計はしうとふくしうと若武者をたばき延と
の金銀物などいふなり重長は皆金銀とらうと
千両もいふべし味方はいづれは九牛は一毛なり然る
にをば延といふ所をいふと延はより若きと若
後詰の勢もいふ味方、敵へ向ふもあらず事も有ま
いともいふべし由々あらずと申すも後難逃とが
はし是非明くして敵、重長は首提げて今日の恥をき
うと申すといふと申す多くて物をもあはれと金銭

あつていと評儀つていへ陣をよ申す人いふも所城
より申す申すへ移すといふと申す、急ぐ所、生勢
都々下り八千中世の陣をいふと鉾を立つる地なり折
り申す申すは八月にありていふ所、肌をのけ武者を
いふと申すといふ所の民をいふと申す、堂社御殿をいふ
し新とていふ、焼くといふ、帯を解き、酒を暖
くいふ所、後、酒、鉾、いふ所、不意の方様を
運ぶ所、後、いふ所、いふ所、いふ所、いふ所、いふ所、
と申す、いふ所、いふ所、いふ所、いふ所、いふ所、いふ所、